

警時城報

発行日 十日
印刷所 警時城報社
印刷人 岡田弘成
印刷部 警時城報社
發行所 警時城報社
一部金五銭 一月金五十銭
廣告料 一行十四字 五十銭
日刊 (日曜紙 日) 翌日休刊

六縣市長會議を始め 各種の大会合開かる

豫想さる、今春平市の賑ひ

新興平市は昭和十四年度を迎へるの四月中旬東北六縣北海道市長會議の開催を始め、東北六縣都市財務主任會議、縣自動車協會議、縣下消防組頭大會等々代表的會合相次ぎ、春早々から賑はひを呈するものと期待を寄せられ、市當局も準備を進めてゐる。

兩角部隊長來平

十二日平驛下車

徐州會戰に一番乗りたる、戦後の熱誠なる後援に感謝の意を武動を凝てた吾等が郷土部隊長を代表して、官通知があつたので、兩角部隊長はさきに本縣警防隊平市では同部隊長を迎へ、同夜官區司令官に轉任、この程晴れの民合同の歓迎會を開き併せて徐州會戰の功績、平驛に下車、進められてゐる。

海の富八十萬圓

四倉濱昨年中の漁獲高

四倉町の鰯は近年不漁つき、窮乏の船主なる漁獲で殊に昨年は秋から冬にかけ風高をあげれば左の通り

▲不動丸(長谷川西次郎氏所) 有(四万四千七百三十四) 四十八
▲石井丸(石井鐵三郎氏所) 有(八千六百五十四) 第一船丸
▲波末吉氏(四萬九千九百六十六) 四
▲金比羅丸(鈴木賢二氏) 三

四倉藝妓有志 時局申合せ

お客さん顔負け
四倉町藝妓置屋藤本方八千代、鍾子等方勤平など九名の藝妓連は結束して此程、時局申合せを組織したが八日夜、劇団一心亭で演會式をあげ時局演劇「あらし」演も及ばずながら長期建設の線に刷つて働らきませう」といともけなげな申し合せをなした。先づ白粉代節約金十圓を、血兵金に、またお座敷から拾ひ集めた銀紙五百圓を國防費に、と四倉町へ寄附した、この健氣な行動は左の通り

藤本方八千代、鍾子、野崎平、新妻清治氏、三万一千七百三十七圓、以上合計二十八萬七千九百七十九圓

献金と奇附

市内杉平平聖公會ではクリスマス祭に、湯本の會堂で集つた献金十圓二十銭

床屋とん總會

優良店主と徒弟を表彰

平野管内理髮結髮業組合總會は十日午前十時から同會會議室で開き豫算等を協議、優良店主、ならびに徒弟を表彰した

△店主 一 平野町落三、鈴木徹一、八島シマ、片寄武内、郷村一、藤輪義彦、瀧春江、荒川正夫、猪狩昇、西牧とき、△江名町、猪狩昇、△小川町、小川村、鈴木加藤太、鈴木大野マサ、△小名濱町、遊佐重之助、△湯本町、根本辰秋、△徳島、平野町、高野野村、△野崎、野崎秋光、△神成、松本、△鈴木、鈴木太郎、△飛田、飛田安造、△湯田

轍逃げ運轉手收容

業務上過失致死で起訴

元日朝内郷村地内國道で同村先平検査局官署事務の取調を受け、崎馬三郎(五八)を轍き殺して逃げ業務上過失致死ならびに自動車走した湯本町天王崎坂本湯吉方車取締令違反で起訴、平野事務所運轉手齋藤忠次郎(二八)に收容された

新年早々の幸運

井尻氏所有の鑛山に 買受け希望者が殺到

平野町町内に古銅鑛機類の店鋪を有する井尻七三郎氏は最近資本金二十萬圓の合資會社に組織を強化、戦後の鐵軌時代に向けて堅實な經營方針の元に最近目まぐるしい發展を遂げ、同町内に家屋及店舗を新築中で、現在の事務所を利用し金物店を開業に準備を進めてゐるが、最近財界の巨頭鈴木梅四郎氏の經營に成る警務事業株式會社から鈴木氏の特別の恩恵を受けて山形縣南村山郡逢坂山村にある著名な大門鑛山を買取、従来通り採掘を続け相當以上の成績を収めてゐる

市内田中島湖洲等が参加し買取された大門鑛山は三坑區の本縣の郷土部隊演習慰問團は

演藝慰問團

無事郷土部隊に到着

市内田中島湖洲等が参加し買取された大門鑛山は三坑區の本縣の郷土部隊演習慰問團は

戦線俳句通信

市内仲町 二葉活版所主命弟 太田四朗君陣中便り

其の後益々御健勝の事と存じます、私は今中交〇〇にて元氣に活躍して居ります、今日迄の様々な経路はすべて御報告申し上げたい處ですが、仲々その根氣も出て参りません、〇〇港出航以來の日誌をめぐり所々所々俳句(俳句として)の根氣も私にも多々ある、その御紹介も上げて御報告致します、一とも致し度いと存じます。

郵便貯金

仙臺選信局では左の要項により郵便貯金に就ての体験談を一般から懸賞募集してゐる

- 一、課題 郵便貯金に就て体験談を語る、内容左記事項の、又は若しくは全部を内容とするもの
- 二、郵便貯金を奨励し効果を挙げた体験談及びが奨励の動機
- 三、郵便貯金を實行し貯蓄を増加した体験談(動機方法等)
- 四、郵便貯金の依り不時災厄を免れた体験談
- 五、賞金 一等五十圓、二等十圓、三等二十圓、選外佳作十圓、原稿紙二千四百字以内
- 六、入切 一月三十一日
- 七、発表 三月十日
- 八、宛先 仙臺選信局監督課貯金係

新文具御案内

マルトモ書店入荷品
書道用練習筆
長鋒快適 (古梅園製) 一號より八號まで 値段十八圓より四十四圓迄
◎精華 (仙臺玉光軒製) 各三十八圓
◎朝陽 (鈴木木村先生選) 各種拾銭より一圓迄
書道用墨
◎入木道 (古梅園製) 小學生用 各種拾銭より
◎紅花墨 (古梅園製) 三十五圓より一圓四十圓迄

天氣豫報

今晩は北東の風雨後曇り
明日は北東の風雨後晴

亂暴古物商に 罰金百圓

勿來町大字酒井、古物商吉川繁太郎(四四)は十日平野から住居三縣代表の慰問團三十一日無事到着す、特に慰問團の活躍のため元且に於ける將兵の士氣大いに揚がり、吾等將兵一十日夜飲酒の上かねて仲の悪い同團代表の伊藤徹さんと及ぶお蔭さん方へ鐵棒を持つて暴れ込み脅迫した外通りがかりの三村繁吉さんを毆り全治六日間の負傷

は此處も同じ目ざむる許り、しばしば甲板に立つて去る事を知らなかつた、河とは云へ海のやうです。

日向ぼこするクレーニヤンの見えて来る

支那は流石に廣い、一方で猛烈な戦があると思へば一方では長閑に秋の日を楽しんでゐるではないか、戦争は一体何處にあるのであらう。

刀を持ち秋日を浴びて斬髪

南京の町には道路にたくさん、の床屋が出てゐる、私は髪を、ついでに髪を剃つたが剃刀は使はせなかつた、日向に出る床屋に、かゝる香氣な光景の中にも敵

一日一言

野澤武藏

苛酷な税整を直せ

舊縣中内目貫通りの某氏(と事實を隠して追究してゐるが名譽のため特に名を秘す)が縣稅務官吏の手段をばかぢな稅納額七十餘圓のため、一萬八千餘圓の土地と家屋を千圓と評價される土地と家屋を賣つた者である。賣つた土地と家屋を賣つた者が多しと聞く。賣つた土地と家屋を賣つた者が多しと聞く。賣つた土地と家屋を賣つた者が多しと聞く。

二百圓の縣稅納額で土地と家屋を賣つた者が多しと聞く。賣つた土地と家屋を賣つた者が多しと聞く。賣つた土地と家屋を賣つた者が多しと聞く。

納稅は國民の三大義務でありこれを果し得ないものは非國民と云はれても致し方あるまい、然し何人とも、銃後に於ける國民の義務を忘却するものありとは信じられず、某氏の場合同様に香を受けてその負擔に堪へず、然も分納の方法に依つて納稅の誠意は充分認めらるべきではあるまいか、舊縣四日縣會で、關内縣議が



酒は……松竹梅より
お酒のあとに名代おけさめし
味の郷
平市三田小路

出前迅速
女店員
至急入用
平局前
電話三七三番

電話五九二番
に變りました
平市銀座街

外科科一般
金成醫院
平市鎌田町
電話三五八番

産科・婦人科
井坂醫院
平市田町
電話五五九番

内科
胃腸病科
花柳病科
性病科
泌尿器病科
皮膚科
肛門病科
門專
院醫科腸胃性村松
(番七〇一電)町南市平

先づ健康!
指壓療法と電気治療
巡回治療もいたします
申込次第出張いたします
四倉驛前仲田七二
指壓電気治療所
渡邊虎太郎

公債・債券
三井質店
平市四丁目
電話六〇六番

紳士の喫茶店
グレル・パツカス
サービス料一割(外拜辭)
平市銀座通り TEL 720
女店員募集
▽年齢 十七歳位ヨリ
▽月給 初給四拾圓以上
▽待遇 衣裳貸與金支給
▽何の氣苦勞もなく働ける
▽働ける固定給料です
▽眞面目に働きたい方
眞實な生活を望まれる方は御出下さい
懇切御指導致します

吸入用酸素純度99%
モノサシ
ハカリ
マ
ス
体温器
寒暖計
秤ノ取締。錘系。修覆致シマス
關内藥局
電話四〇番

最新流行の
下駄と草履
ドコヨリモ安い三井履物店
平南町 電話一八一番